



多摩市立瓜生小学校

学校だより

【祝 開校20周年】

平成28年度 第12号

平成29年1月31日

「あきらめない」ことの大切さ

校長 鈴木 純一郎

14日（土）にどんど焼きが開催されました。

オープニングでは、大勢の保護者、地域の方々に見守られて、5年生の児童が力強く太鼓の音を響かせました。たくさんの拍手と声援を受けて、子供たちは「今年は、最高学年に進級するので、他の学年の手本となれるように頑張りたい。」という決意につながったようです。温かい応援をありがとうございました。

保護者、地域の皆さまには、早朝より準備作業を行っていただきまして、ありがとうございました。参加した教職員と共に、日頃の子供たちの様子について、情報交換をしながら活動できたことは、これからの学校生活での指導に有効であると実感しています。学校と家庭・地域が一体となり、充実した教育活動が展開できますよう、これからもご協力をお願いいたします。



【どんど焼き】
オープニング
瓜生太鼓（5年生）



【教育訪問】
教育委員の方々と
給食（3年生）

最後まで「あきらめずに頑張ろう！」と子供たちを励ますことがあります。自分の力を出し切って、困難を乗り越えようとする前向きな気持ちを子供たちに育みたいと考え、例を挙げて朝会などで話をします。

「算数の問題が解けなくて、宿題を投げ出したいとき」【学習面の例】

「一緒に仲良く遊びたい友達とうまくかかわれないとき」【生活面の例】

「走ることが辛くて、ペースランニングを途中でやめたいとき」【運動面の例】

上記のほかにも様々な場面において、あきらめてしまうことで自分の力をさらに伸ばしたり、よりよい人間関係を築いたりするチャンスが失われます。

大相撲初場所で初土俵から15年目にして初優勝を果たした稀勢の里関は、過去に準優勝が12回もありました。自分の実力を信じて、最後まであきらめずに辛い練習を重ねた結果の初優勝であったと思います。

今年度は残り2か月ですが、一年間を振り返り、自身の目標や課題を最後までやり通すように学校では、子供たちに働きかけていきます。進学・進級に向けて、ご家庭でも励ましの声かけをよろしくお願いいたします。

【研究発表会のご案内】 2月23日（木）13:35から

本校は今年度「東京都教育委員会言語能力向上拠点校」として授業改善及び課題解決に向けた実践を重ねてきました。一年間の研究の成果を発表します。

学級会の話し合い活動の授業を全学級で公開し、研究内容について報告します。

当日は、6年生が和太鼓の演奏を披露します。保護者、地域の皆様もぜひご覧くださいませよう、ご案内申し上げます。